

大和沢ダム建設事業 再評価現地調査資料

平成 22 年 8 月

青森県県土整備部河川砂防課

平成22年度第3回青森県公共事業再評価等審議委員会
現地調査行程図（黒石IC～ホテルニューキャッスルまで）

S=1/50,000

黒石IC

ホテルニューキャッスル
(昼食・会議会場)

城東豊田橋

徒橋

弘前駅

蓬莱橋

堀越橋

八幡橋

尾神橋

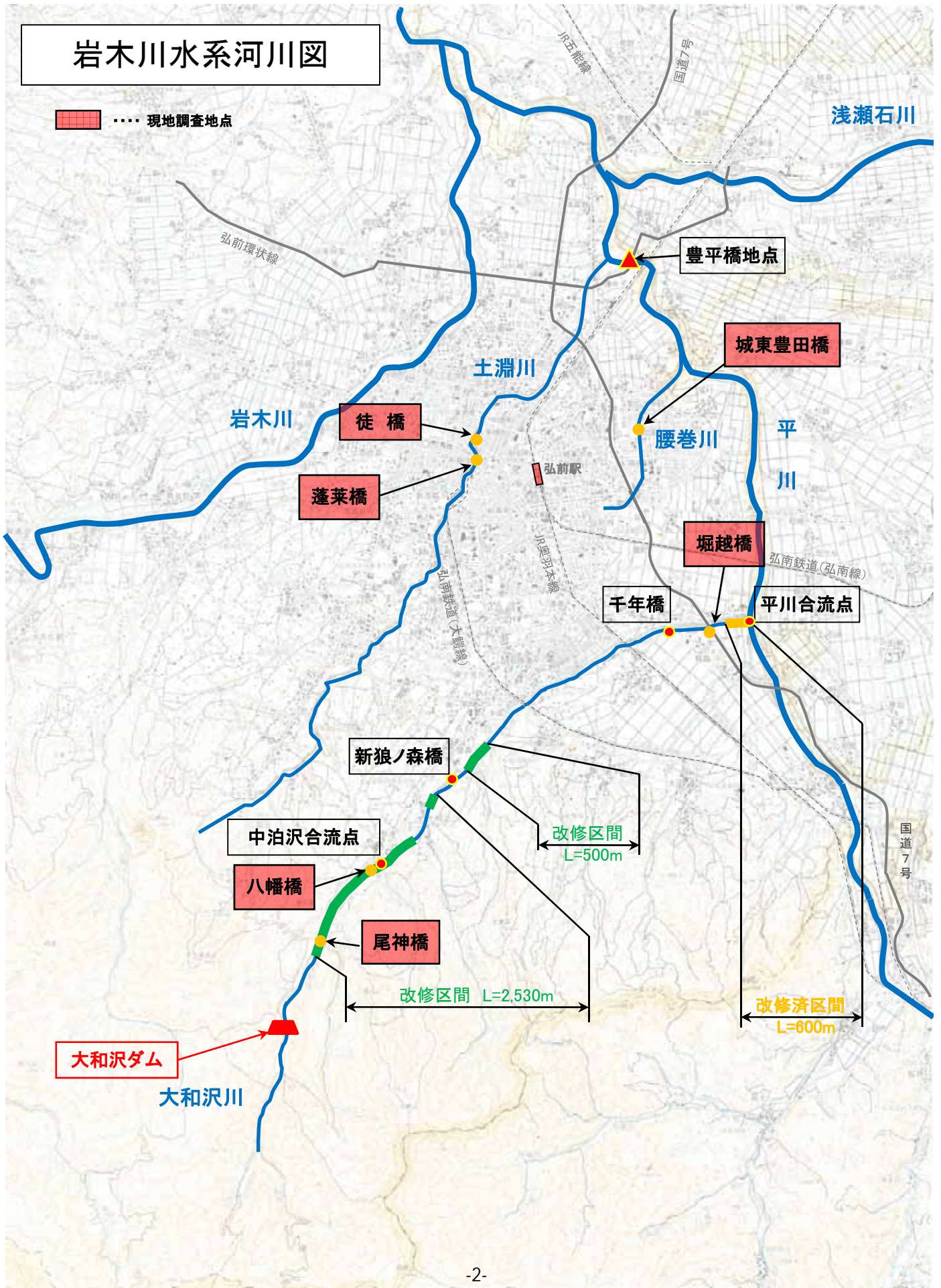
大和沢ダム
建設予定地

現地視察場所の概要

番号	場所	内容
1	尾神橋	大和沢ダムサイト近傍、大和沢川上流域の河川状況の視察
2	八幡橋	大和沢川上流域の河川状況、改修予定区間の視察
3	堀越橋	大和沢川下流域の河川状況、改修済区間の視察
4	城東豊田橋	河川維持用水を補給する腰巻川の河川状況の視察
5	蓬莱橋～徒橋	河川維持用水を補給する土淵川の河川状況の視察(再生事業箇所等)

岩木川水系河川図

■ 現地調査地点



大和沢ダム建設事業

1. 大和沢ダムの必要性

① 大和沢川では、昭和50年8月、昭和52年8月、平成2年9月と度重なる洪水被害に見舞われている。特に昭和50年8月には、浸水家屋171戸、冠水面積50haの大水害が発生している。



昭和50年8月豪雨

昭和52年8月豪雨

② 大和沢川ほか隣接する土淵川や腰巻川では、水質の悪化や濁水によって、魚の酸欠死やユスリカの大量発生等の問題が起こっている。



昭和60年10月15日

昭和58年7月15日

土淵川の「魚の酸欠死」に関する新聞記事

土淵川の「ユスリカの大量発生」に関する新聞記事

大和沢川に大和沢ダムを建設し、土淵川及び腰巻川に環境用水を導水し、水質改善を図ることとした。

3. 今後の方針

大和沢ダムについては、下記の理由から中止することとする。

大和沢川、土淵川、腰巻川とも水質が大幅に良くなりダムからの補給の必要性がなくなった。

(今後概ね30年間の治水対策については、河川整備により所定の安全度を確保する。)

2. 再評価委員会の付帯意見に関する調査・検討

2.1 生産環境の変化

① 農業用水取水量の減量（現地調査等により確認）

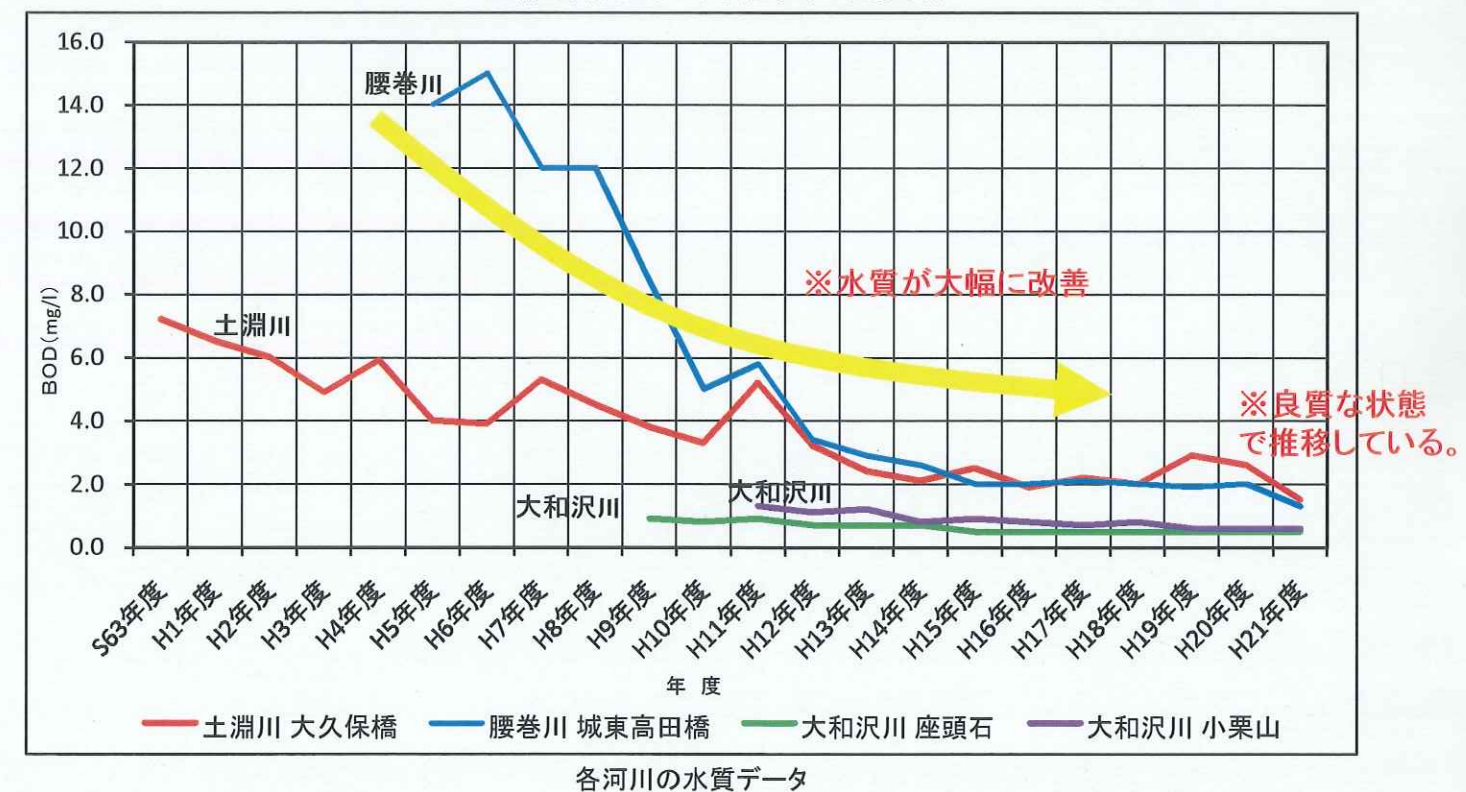
大和沢川掛りの水田面積が大幅に減少し、最大取水量が大幅に減少している。

2.2 生活環境の変化

① 下水道事業と河川の水質の改善



土淵川、腰巻川の下水道事業の進捗状況



※ 下水道整備が進むにつれて大和沢川・土淵川・腰巻川の水質が大幅に改善されてきている。

環境用水の導水の必要性はなくなった。

大和沢川治水対策について

大和沢ダムを中止した後の大和沢川の治水対策については下記のとおりである。

1. 昭和50年8月、昭和52年8月洪水時の降雨から守ります。

洪水が起こった時の大和沢川流域での雨量

昭和50年8月20日 136mm/24時間
昭和52年8月 6日 156mm/24時間



河川整備計画を策定した時の大和沢川流域での雨量

156mm/24時間

2. 昭和50年8月、昭和52年8月洪水を安全に流します。

洪水が起こった時の大和沢川での推定流量

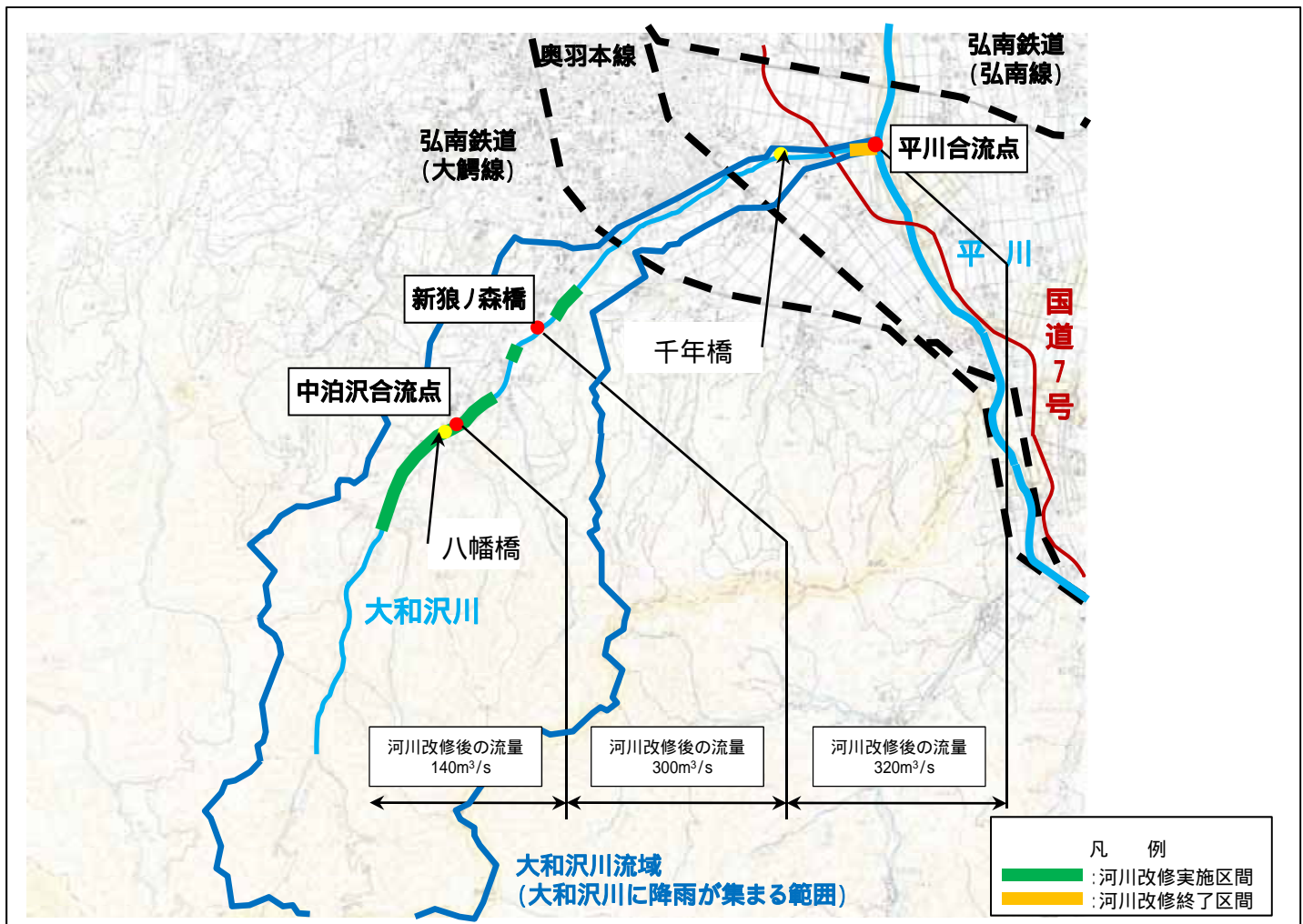
昭和50年8月20日 千年橋地点 183m³/秒
昭和52年8月 6日 八幡橋地点 105m³/秒



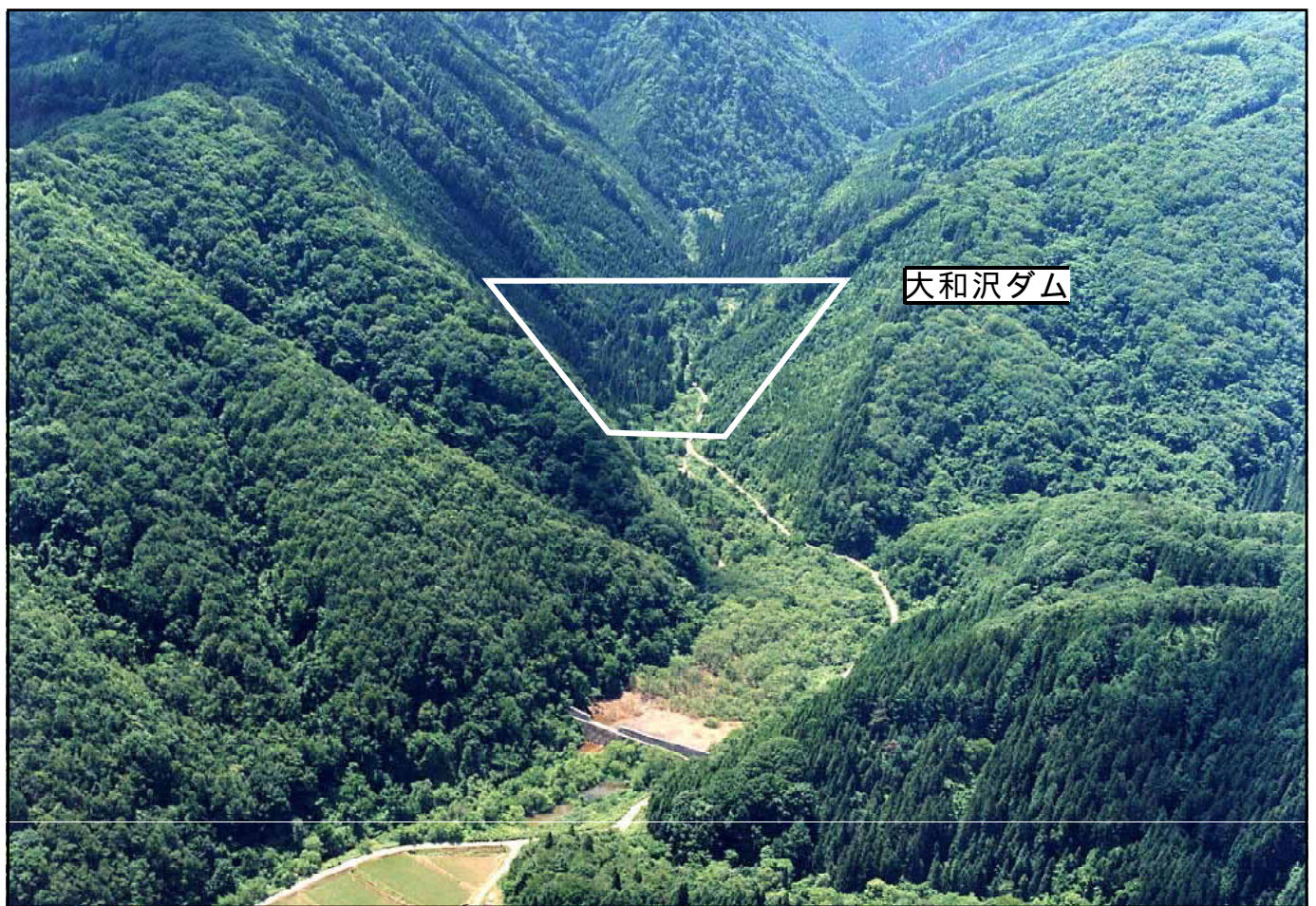
河川改修後の大和沢川の流量

千年橋地点 320m³/秒
八幡橋地点 140m³/秒

3. 昭和50年8月、昭和52年8月洪水を安全に流すため、下記の箇所の河川改修を行います。

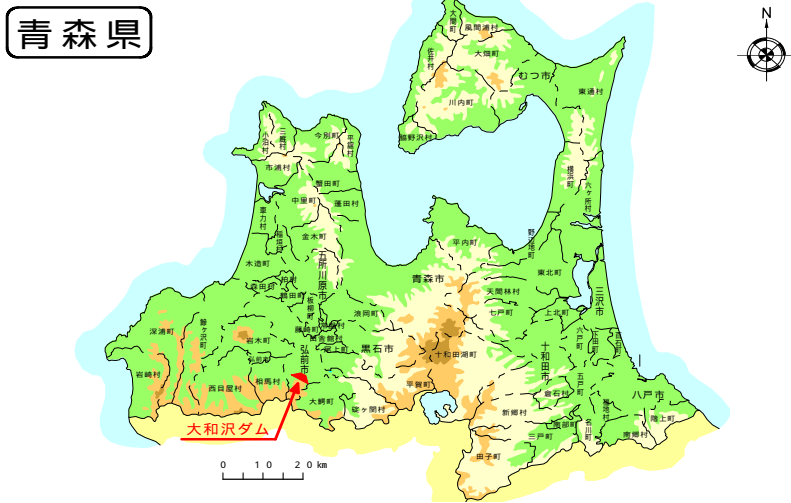


大和沢ダム計画地

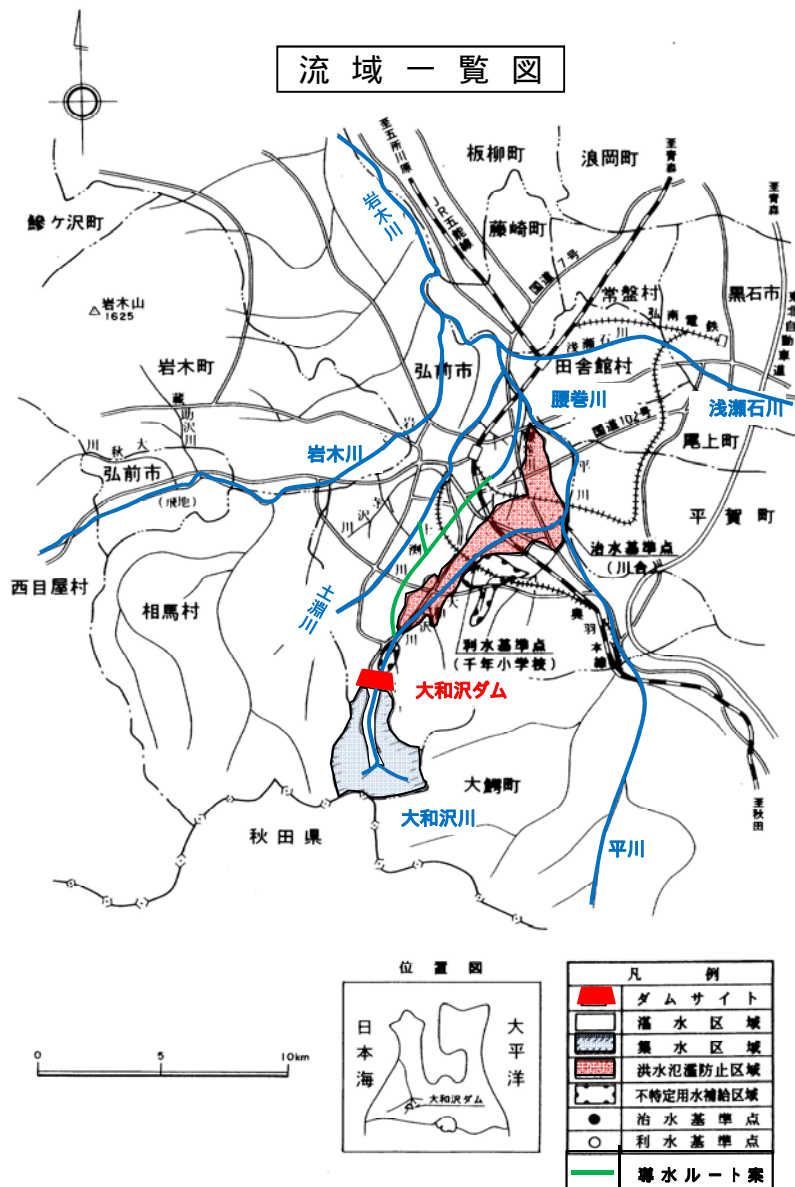


[全体計画図]

(1) 事業実施箇所位置図

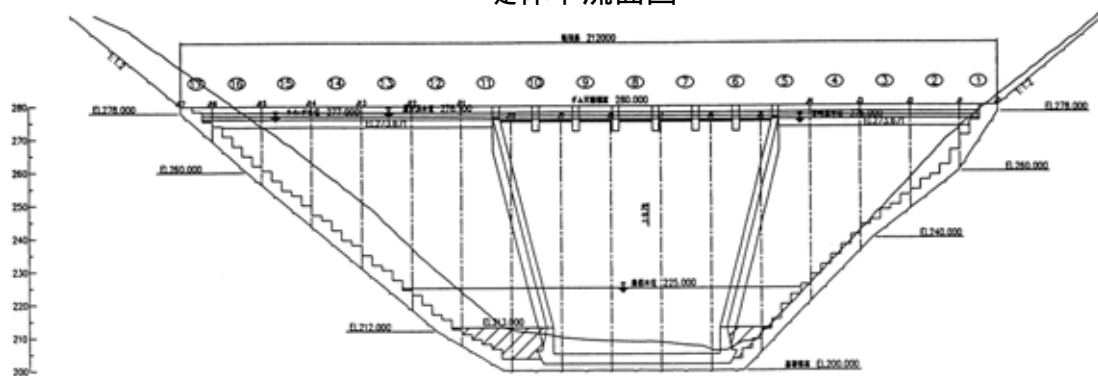


(2) 全体計画平面図



(3) 構造図

堤体下流面図



標準断面図

